

2025年 ふくやま書道美術館催物案内

7月

古代文字を書くワークショップ参加者募集!!

【ワークショップの内容】

漢字の基となった古代文字(象形文字)を筆で書きます。完成した作品は軸装し、8月1日(金)～8月17日(日)にふくやま美術館2階・多目的室で開催される「第20回一緒にかく古代文字展」で展示します。



【日時】6月28日(土)・29日(日)

7月5日(土)・7月6日(日) 各日午後1時～

【場所】ふくやま美術館2階多目的室

【対象】家族や友達など、2名以上で参加できる方

【参加費】1人2,000円(材料+軸装費含む)

【お申し込み方法】はがき又はメールで、以下の必要事項①～④を明記の上、お申し込みください。

①代表者(保護者)の名前 ②参加する人の名前(中学生以下は年齢も)

③代表者の郵便番号、住所、電話番号 ④第1希望日と第2希望日

※各日定員12グループ。応募者多数の場合は抽選となります。

●はがき宛先→〒720-0067 広島県福山市西町二丁目4番3号

ふくやま書道美術館「ワークショップ募集」係

●メール宛先→syodo@city.fukuyama.hiroshima.jp

【申込締切】6月22日(日) 必着

常設展示室・展示室

展示替えのため休館 7月1日(火)～3日(木)

夏の所蔵品展Ⅱ 「一緒に見る 家族の書」

会期：2025年7月4日(金)～8月24日(日)

休館日：月曜休館

※ただし7月21日(月・祝)、8月11日(月・祝)は開館、7月22日(火)は休館。

展覧会内容

書を始めるきっかけは習い事や趣味、教養としてなど、様々な目的があります。では、当館が所蔵する作品を生んだ作家達は何を目的に、何を契機に書に関わってきたのでしょうか？そのような視点で各作家の略歴を見ると、他の書家と家族や親族の関係をもつ作家が多いことが分かります。

本展では、所蔵品の中から親子関係、兄弟、親族関係のある作家の作品を展覧します。中国作家からは何紹基(1799-1872)、吳昌碩(1844-1927)を、日本作家では頼山陽(1780-1832)、桑田笹舟(1900-1989)に關係する書家作品を展示します。家族間に通ずる書風の類似性、またひとりひとりの作品に表された個性も感じながら、時代をつなぐように書文化を築き上げてきたそれぞれの家族の書を紹介します。



吳昌碩《桃実図軸》



吳昌碩《画樹長春冊》



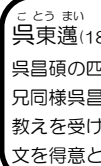
吳東邁《篆書郭沫若詩七言絕句軸》



こしょうせき
吳昌碩(1844-1927)
詩・書・画に妙腕を振るった清末から民国期の大家。篆刻が有名で、日本でも愛好者が多く人気の作家。



こしょうかん
吳蔵龕(1876-1927)
吳昌碩の次男。幼いころから吳昌碩の書学を学び、詩・書・画・篆刻の造詣を深めた。



ことうまい
吳東邁(1886-1963)
吳昌碩の四男。兄同様吳昌碩の書学の教えを受け、特に石鼓文を得意とした。



所蔵品展観覧料

一般 150円 (120円)

高校生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金

次の方は観覧料が無料です

- 社会福祉施設に入所されている方
- 福山市・府中市・神石高原町に住所を有する65歳以上の方(マイナンバーカードなど、住所・年齢が確認できるものが必要)
- 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持参する方、及びその介護者1名

※開館時間は午前9時30分から午後5時までです。

※月曜日【 】の日は休館日です。

FUKUYAMA MUSEUM OF CALLIGRAPHY
ふくやま書道美術館

〒720-0067 福山市西町二丁目4番3号

JR福山駅福山城口(北口)から西へ約400m Tel 084-925-9222

Webページ www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-syodo/

電子メール syodo@city.fukuyama.hiroshima.jp